

第406回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成24年7月18日(水) 10:00～11:15

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <副委員長>石田英敬、根本 彰 <委員>長谷部恭男(代)、
大江和彦、田畑 仁、月本雅幸、土居 守、本間正義、伊藤正直、橋本毅彦、
八代田英樹(代)、金井雅彦(代)、月橋文孝、今井 浩、岡本剛和(代)、山梨裕司、
岩崎貴哉(代)、真鍋祐子、畑中研一、保谷 徹、加藤由紀(代)、川崎雅裕、勝本信吾、
安田一郎、菅原 琢(代)

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>酒井哲哉、大和裕幸、中川裕志(代)、堀 浩一、林 香里

欠席者 大湾秀雄

列席者 田中成直、高橋 努、木下 聡、北村照夫、風巻利夫、増田晃一、福井明美、吉田左貴子、
大澤正男、三浦圭子、風巻みどり、合田美恵子、藤本蒂子、野口真理子、濱田すみ子、
森田美由紀、本多 玄、久保田壮活、高橋 隆、村上晋司、金藤伴成、山崎裕子、
原 香寿子、坪 陽子

配付資料

1. 第405回図書行政商議会議事要旨
- 2-1 全学共通経費で整備する雑誌の見直し日程
- 2-2 全学共通経費(第2期)で整備する学術雑誌(冊子)及び電子ジャーナルの見直しの考え方
- 2-3 全学共通経費(第2期)で整備する雑誌の見直し(入替え)調査結果(総表)
- 2-4 全学共通経費(第2期)で整備する雑誌(新規純増)推薦結果(総表)
- 2-5 全学共通経費(第2期)で整備する学術雑誌(冊子)及び電子ジャーナルの見直し結果について(案)
- 2-6 純増による新規タイトルリスト(案)
- 2-7 大型コレクションにおけるサーバ維持費等のメンテナンス経費(年間維持費)について(中間まとめ)
3. 附属図書館迷惑利用者に対する利用停止の全学要請に関する申合せ(案)
4. 「新図書館構想骨子」たたき台について
5. 附属図書館サービス特別委員会議事次第
6. 第25回駒場図書館運営委員会議事次第
7. 科研費による調査・研究への協力をお願い(依頼)
経済学部資料室パンフレット

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第405回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

①学術雑誌（冊子）及び電子ジャーナルの見直しについて

畑中サービス特別委員会委員長から、前回了承された資料2-1、2-2の日程及び見直しの考え方にもとづき、雑誌の入替えと新規純増タイトルの推薦について各部局に調査を実施し、その結果を資料2-3、2-4にまとめたとの説明があった。調査結果の詳細については木下情報管理課長から説明があった。次に畑中サービス特別委員会委員長から、調査結果をもとにサービス特別委員会で検討した結果を踏まえ、資料2-5、資料2-6にもとづき全学共通経費（第2期）における学術雑誌（冊子）及び電子ジャーナルの入替え並びに新規純増タイトルの提案があり、異議なく了承された。

②大型コレクションの電子資料にかかる年間維持費の取扱いについて

畑中サービス特別委員会委員長から、資料2-7にもとづき全学共通経費（第2期）における年間維持費の取扱いについてサービス特別委員会として中間まとめを行ったとの説明があった。審議の結果、中間まとめの方向性が了承され、次回図書行政商議会（11月）での提案に向けて、引き続きサービス特別委員会で検討を進めていくことになった。

畑中サービス特別委員会委員長から、全体に関わることとして、冊子体しかない雑誌の整備について長期的な観点で議論する必要があるとの問題提起が部局よりあったことを受けて、今後における全学共通経費による整備の具体的な在り方について引き続きサービス特別委員会で議論していきたいとの発言があった。

(2) 附属図書館迷惑利用者に対する利用停止の全学要請について

古田委員長から、資料3にもとづき提案の概要説明があり、続いて北村情報サービス課長から、申合せ（案）の詳細について説明があった。委員から、申合せは各部局図書館室が利用停止の手続きを法的に整備することを要請するものであるのか、利用停止を解除する際は別途細則等で対処することになるのかとの質問があり、古田委員長から、その通りの理解であり、細則にあたるものを今後検討し仕組みを考えていくとの回答とともに、法的な問題と利用者等の保護のために取る図書館の措置を区別して考えているとの補足説明があった。次に附属図書館長の要請にもとづいた利用停止をした場合、利用者の異議申し立ては附属図書館長が受けることになるのかとの委員の質問に対し、古田委員長から附属図書館長が責任を負うことになるとの回答があり、審議の結果、申合せ（案）が了承された。

3. 報告事項

(1) 新図書館構想の推進について

古田委員長から進捗状況について次のような報告があった。楠の移植が終了し、本学の重要な文化財でもある噴水の扱いについてキャンパス計画室で慎重な検討が進められていること。概算要求

を文科省に提出していること。渉外本部と連携して寄付事業の起ち上げに向けた検討を進めていること。昨年度までの推進委員会を廃止し、担当理事懇談会のもとに幹事会を位置付け、そのもとにステアリング・コミッティーを発足させ、実施体制を整備したこと。ステアリング・コミッティーの座長に石田副館長が就任したこと等。引き続き石田副館長から、資料4にもとづき、新図書館構想骨子たたき台として新図書館構想の理念を分かりやすく説明する5つの議論の軸について説明があり、広く世の中での理解を得るための活動を考えているとの報告があった。委員から、新図書館構想は本郷キャンパスだけではなく、総合図書館、駒場図書館、柏図書館が連携する枠組みで推進していただきたいとの意見があり、古田委員長から今後連携を深めながら進めていきたいとの発言があった。

(2) 附属図書館サービ特別委員会報告

古田委員長から、協議事項で説明したので割愛するとの発言があった。

(3) 駒場図書館運営委員会報告

酒井駒場図書館長から、資料6にもとづき報告があった。委員から、閲覧室のPC禁止席拡大の試行とアンケート調査の結果について質問があり、陪席の職員から、現在集計中のため報告できる段階にないとの回答があった。古田委員長から、このことは新図書館の計画にも関わる問題であるので、分析結果を全学に還元していただきたい旨発言があった。

4. その他

(1) マイクロフィルム保存に関する調査の協力依頼について

伊藤委員から、資料7のとおりマイクロフィルムの保存に関する全国調査を予定しており、このため学内のマイクロフィルムに関する現状把握を行いたいので、部局図書館の協力をお願いしたいとの依頼があった。委員から実状を認識できる良い機会である等の発言があった。

(2) 附属図書館運営委員会委員の選出について

古田委員長から、前回の図書行政商議会で附属図書館運営委員会委員の選出において「本郷、研究所、理系」のキャンパス部会枠から医科研の山梨委員が暫定的に選出されていたが、山梨委員の了承が得られたとの報告があり、正式に選出することが確認された。

古田委員長から次回の図書行政商議会は11月16日を予定している旨の発言があった。

〈閉 会〉